

## 消防の広域化推進計画(案)に対する意見等について

岡山県では、災害の複雑化、多様化、大規模化等に対応した市町村消防の体制の整備及び確立に向けて、本年度中に策定することとしている「岡山県における市町村の消防の広域化推進計画」の(案)について、おかやま県民提案制度(パブリック・コメント)に基づき、県民の皆様からの意見等を募集しましたが、その結果の概要は次のとおりでした。

### 1 意見と県の考え方

別紙の通り

### 2 今後のスケジュール(予定)

- (1) 平成19年度中 県による推進計画の策定
- (2) 平成20年度以降 広域化対象市町村による広域消防運営計画作成
- (3) 平成24年度を目途 広域化の実現

## 意見等の概要と県の考え方

### (広域化)

| ご意見等の要旨   | 県の考え方  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大災害に備え、早期に消防一本化を実現してもらいたい。</li> <li>○ 自分が住んでいる市は近隣市町村との隣接状況から県内を1本部に広域化するほうが効率がよい。</li> <li>○ 周辺部は取り残される不安がある状況では、基本的に広域化に賛成し難い。</li> <li>○ 細かな署所等の配置の整理につながる恐れのある広域化には反対である。</li> <li>○ 内容が理解できず反対である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後、市町村や消防本部を中心に消防力の充実強化の観点から、広域化の実現に向けた具体的な議論が行われることとなります。</li> <li>○ 広く県民や関係者の方々への情報提供、普及啓発を行ってまいります。</li> </ul> |

### (現場到着時間等)

| ご意見等の要旨  | 県の考え方   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現場到着時間の短縮などが、今回の消防本部の合併により、かなりの部分で取り組まれていることに非常に満足している。</li> <li>○ 一人暮らしの高齢者にとっては、事故で近くの救急車が出払っていても、隣の市から救急車が来てもらえるのであれば安心である。</li> <li>○ 中山間の当地では、現在の広域応援協定での対応で十分である。</li> <li>○ 周辺部では、現場到着時間は現在の消防体制で十分だと思える。</li> <li>○ 当市では、現場到着時間の短縮は考えられない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防の広域化は、管轄区域の境界が取り払われることによる現場到着時間短縮効果や災害の輻輳時における統一的な指揮の下での効果的な部隊運用について効果が期待できると考えています。</li> <li>○ 全県的な消防力強化の観点から、消防署所から遠く、現場到着に時間がかかる地域においての時間短縮は大きな意味があると考えています。</li> </ul> |

### (職員・資機材・人員等)

| ご意見等の要旨   | 県の考え方   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きな組織になれば、互いに刺激し合え、更に長期研修を受けやすくなり、消防士のレベルアップのチャンスが増える。</li> <li>○ 各消防本部で職員の考え方に開きがあると思うが、団体行動が基本となる警防活動において、考え方の異なる隊員が上司の指示命令に服することができるのか。また、給料体系</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防の広域化により、人事ローテーションの設定や職員の長期研修が容易となることから、救急業務や予防業務の専門職員の養成・確保に効果が期待できると考えています。</li> <li>○ 今後、市町村や消防本部を中心に職員の処遇、消防署所を含む消防力の配置や部隊運用等について協議が行われることとなります。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
| <p>や手当、階級など様々な処遇で勤務している職員を同じ土俵に上げて問題は生じないのか。</p> <p>○ 広域化した場合には、現在配置されている分署の廃止・統合やスケールメリットで高額な消防車が整備されても、大きな都市にしか配備されないなど周辺部は取り残される不安がある。</p> <p>○ 内部管理事務員、通信員の配備の効率化については、理論的には効果として考えられるが、余剰人員は、人口の多い、事故発生率の高い所の現場要員として集中するのではないか。</p> <p>○ 市町村合併など見るに、効率などが求められれば細かな配置が整理されがちである。</p> <p>○ 当市では、高規格救急自動車を配備し活動している。</p> | <p>○ 広域化により、一般的に、高度で高価な車両・資機材の導入を容易にしようとするものです。</p> <p>○ 資機材の導入に当たっては、市町村や消防本部間で十分に協議が行われます。</p> <p>○ また、計画的に整備を進めている場合も、より実施しやすくなると考えております。</p> |
|--|--|

**(連携)**

| ご意見等の要旨   | 県の考え方  |
|---|--|
| <p>○ 現在は、小さな消防であるがゆえに顔見知りの人が多く、地域住民と距離感なく業務を進めている。</p> <p>○ 発災時には消防団との連携は不可欠だが、この連携が薄れてくる感じがする。</p> | <p>○ 市町村は地域の実情に配慮しつつ各地域の総合的な消防力を充実・強化させる観点から、十分な検討・協議を行う必要があることを記載しています。今後、市町村や消防本部を中心に地域の実情等を十分に踏まえた形での検討が進められていくこととなります。</p> <p>○ 消防団等との連携は重要であると考えており、対応策の例を計画案に記載しています。今後、市町村や消防本部を中心に消防団との連携について議論が行われていくこととなります。</p> |

**(その他)**

| ご意見等の要旨               | 県の考え方   |
|-----------------------|---|
| <p>○ デメリットの記載がない。</p> | <p>○ 消防団や防災・国民保護担当部局との連携という課題があると考えており、具体的な方策について記載しています。</p> |